

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
発達と学習 Development and Learning Psychology		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択 (教職課程必修科目である)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金 (授業と学生相談の時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
学校教育現場で起こっている諸現象を心理学的に考え、教育実践に貢献しうる心理学的知見や技術を学ぶ。				
授業の到達目標				
①児童や生徒の発達について知ることができるようにする。 ②発達段階に適した教育方法について理解できるようにする。 ③現代の学校が抱える課題を知り、対策を考えることができるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式。後半の授業では受講生による模擬授業を実施する。				
学習の成果				
この授業に参加すると ①児童や生徒の発達の過程を理解し、その過程で起こりうる問題に対して予備的な知識を身につけることができる。 ②発達段階を想定し、授業方法を考えることができる。 ③教育上の課題について積極的に考える態度を身につけることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス : 授業概要や目標の説明、成績評価と受講上のルール説明、教職を目指す動機を含めて自己紹介文作成と発表			
第2回目	発達の定義と基本的問題、環境の影響、発達の研究法			
第3回目	発達段階と発達課題			
第4回目	発達の諸理論			
第5回目	胎児期、乳幼児期、児童期前半			
第6回目	児童期後半、思春期、青年期			

第7回目	学習の理論、強化		
第8回目	認知理論、記憶と学習		
第9回目	動機づけ、学習意欲		
第10回目	学習指導、教授法		
第11回目	学習の実験：実施		
第12回目	学習の実験：考察		
第13回目	模擬授業案作成		
第14回目	模擬授業実施		
第15回目	模擬授業実施		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		50%	教職習得の目的意識を持って積極的に参加しているかを評価する
レポート			
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容 (態度含む)		50%	模擬授業のテーマ、構成、態度について評価する。S評価基準は、授業の対象者の年齢を設定し、その発達段階にふさわしいテーマ設定をし、説明する言葉や教材が工夫され、落ち着いた態度で発表できるかどうかとする。
その他			
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。適宜、資料を配布する。			
履修上の心得・ルール			
社会で起きている教育問題に関心を持ち、積極的に参加することを期待する。			